

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員間のコミュニケーションを充実させ、まとまりのある職員集団となっており、チームでの支援に前向きに取り組んでいる
	内容	常勤職員が参加するスタッフ会議が月2回(うち1回はケース会議)開催されており、事業所運営や利用者支援における課題等について組織的な検討を図っている。非常勤職員に対しては、申し送りにより重要事項が確実に伝わるようにしている。職員間のコミュニケーションの状況は良好であり、職員の働きやすさにつながっている。チームで利用者支援を行うため、普段からチームでの会議や新人職員のフォローなどについて話し合い、働きやすい職場を作っている。支援チームを2つに分け、それぞれにリーダーを配置し、まとまりのある職員集団となっている。
2	タイトル	行事やイベント等において利用者の要望を聞く機会を多く設け、作業と楽しみな催し物でメリハリのある生活を支援しており、利用率も高い
	内容	利用者からの意見を聞くため、毎月の全体会や各部活動チームで「自分たちがしたい事」を話し合っている。各チームでは、共通の年2回の調理、年1回以上の日帰り外出も提案しており、それに伴うメニュー決めや外出先等も話し合っている。利用者から意見を聞く場を多く設け、利用者が徐々に自分の意見が言えるようになり、他の利用者にも関心を持つようになるなど、変化が見られている。職員は楽しみな行事を設定し、利用者が作業に対する意欲を高め、生活にメリハリをつけている。こうした取り組みにより、利用率も90%以上と高くなっている。
3	タイトル	地域に開かれた事業所として認知してもらえるよう、地域に開放した行事や利用者と共にSNS等で情報発信を行っている
	内容	当事業所は今年10周年を迎え、地域に開かれた事業所として、作業の中に定期的に美化活動を取り入れ、地域との交流の機会を創出している。また、事業所で開催する夏祭りを地域にも開放し、事業所内や利用者の活動状況を地域の方々に知ってもらう機会としている。さらに、活動チームの中には、定期的に外出し、地域の様子や季節の移り変わりをSNSで発信しているチームもある。その他にも、市の社会福祉協議会から取材を受け、地域に配布される「社協便り」に掲載されるなど、さまざまな機会を設けて地域に知ってもらう取り組みを行っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業所が求める人材の育成に向け、職員各自の経験や個性を踏まえた育成方法の一層の工夫に期待したい
	内容	事業所の求める人材を確保するため、応募者には実習を行ってもらい、採用後のミスマッチを防いでいる。新任職員に対しては、プログラムに沿った研修を実施し、必要なレクチャーを行っている。また、人材育成計画を、職員各自の意向を踏まえて作成し、必要な外部研修等を確実に受講できるようにしている。事業所では近年、職員数が増加していることもあり、人材育成の一層の充実が必要となっている。現在の取り組みを継続しながら、職員各自の経験や個性を踏まえた育成のあり方を一層工夫していくことに期待したい。
2	タイトル	ヒヤリハットの集計・分析を充実させていくことにより、事業所のリスクをより一層把握しやすくしていくことに努めてほしい
	内容	重度の利用者が多いため、事故防止や感染症対策等に力を入れている。ヒヤリハットについては、「ヒヤリハットの日時、場所、内容」という項目に沿って、終礼で確認をしており、非常勤職員にも回覧している。転倒や離脱等の内容が多くなっており、再発防止に役立っている。業務日誌にも記載しており、職員は確認した上で業務に入ることにしている。一方で、ヒヤリハットの集計・分析においては課題があると思われる。定期的な集計・分析を行うことで、より一層リスクを明確に把握することができるとと思われる。今後の取り組みの進展に期待したい。
3	タイトル	現在実施している防災対策に加え、地域との協力体制の下での取り組みの充実に期待したい
	内容	令和元年度に事業継続計画の策定に関する研修を受講し、策定している。策定後は、内部研修で職員に具体的な確認作業を行っている。年に3回、防災訓練を実施しており、消防署とも連携を図っている。消火器の使用方法や避難シミュレーションなど、実践的な訓練を実施して、災害時に備えている。こうした取り組みに加えて、今後は、地域との連携による災害時対応の充実を図っていくことにも期待したい。地域住民と協力した防災訓練の実施や、災害対策に関する情報共有などを進め、さらなる協力体制を目指していくことに期待したい。